

# 第3学年”Sadako and the Thousand Paper Cranes”

平成21年9月10日(木) 3年A・B・C組 指導者：英語科赤田教諭

## 1 単元の目標・評価

- 戦争の恐ろしさを知り、平和の大切さを理解する。
- 佐々木禎子さんのエピソードを通して、戦争をもたらす悲劇を知る。
- 原爆についての具体的な事実を知る。
- 広島、長崎や禎子さんのエピソードが戦争や軍事衝突に対する「平和」の象徴として世界的に受け入れられていることを知り、世界遺産としての原爆ドームの意義を理解する。

## 2 単元の指導計画 (全7時間)

- 文法導入①
- 文法導入②
- 教科書内容理解①p.30
- 教科書内容理解②p.31
- 教科書内容理解③p.32
- 文化・背景理解 (本時)
- まとめテスト

## 3 学校図書館活用のポイント

- ブックトークを通して、図書館にある本を紹介する。

## 4 本時の学習 ( 6 / 7 )

### (1) 本時の目標

- 広島のアニメーションの知識を得させるとともに、戦争について考える機会とする。
- アニメーションの活動を通して、ほんの読み聞かせの内容理解に努めさせる。

### (2) 学習活動の展開

過程	学習活動	指導の工夫 (図書館活用・参考図書等)
導入 10分	DVD視聴する CD-ROMを視聴する	DVD「ヒロシマ・原爆の記録」 CD-ROM「ひろしま県教育旅行」
展開	アニメーション 「前かな？後かな？」	読み聞かせ：絵本「禎子と千羽鶴」
	①生徒に物語の一部を書いたカードをそれぞれの生徒に持たせ 物語の順番になるように座っていってもらおう ②全員が終えたら、答え合わせをする	

30分	ブックトーク	佐々木禎子や広島原子爆弾についての本を紹介する ワークシートを配布する 図書館内の展示コーナーを紹介する
まとめ 10分	詩「人間をかえせ」朗読 (英語版) 峠三吉	赤田教諭による朗読

5 成果と改善の視点

<成果>

- DVD視聴や読み聞かせの活動を通して、広島や佐々木禎子さんについての知識を増やすことができた。
- 普段学習している内容と図書館にある本との関連性を知ることができた。

<課題>

- 机・椅子がないので、集中力が切れてしまう生徒が一部見受けられた。
- 活動の指示の出し方が不明確で、余計な時間を使ってしまった。